

なるほど! ザ・ファンド



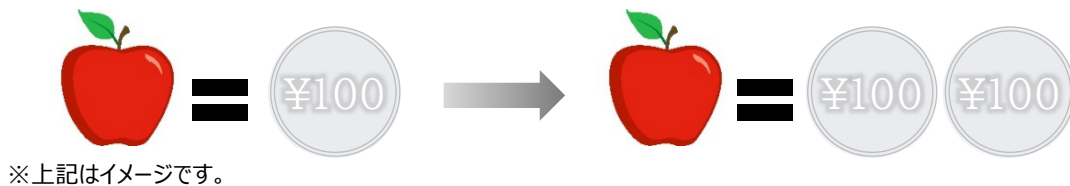
Vol.266

Q. 「インフレ」について教えてください。

A. モノやサービスの価格が継続して上がることを指します。インフレ環境下では、実質的にお金の価値が目減りします。

インフレは「Inflation(インフレーション)」の略で、**世の中のモノやサービスの価格(物価)が継続して上昇すること**を指します。インフレ環境下では実質的にお金の価値が目減りします。例えば、リンゴの値段が100円から200円に上昇した場合、同じリンゴを購入するのに必要なお金が2倍になります。言い換えると、同じお金ではリンゴを半分しか購入できず、実質的にお金の価値が目減りしたと言えます。

物価が上昇すると、お金の価値は相対的に下がることに

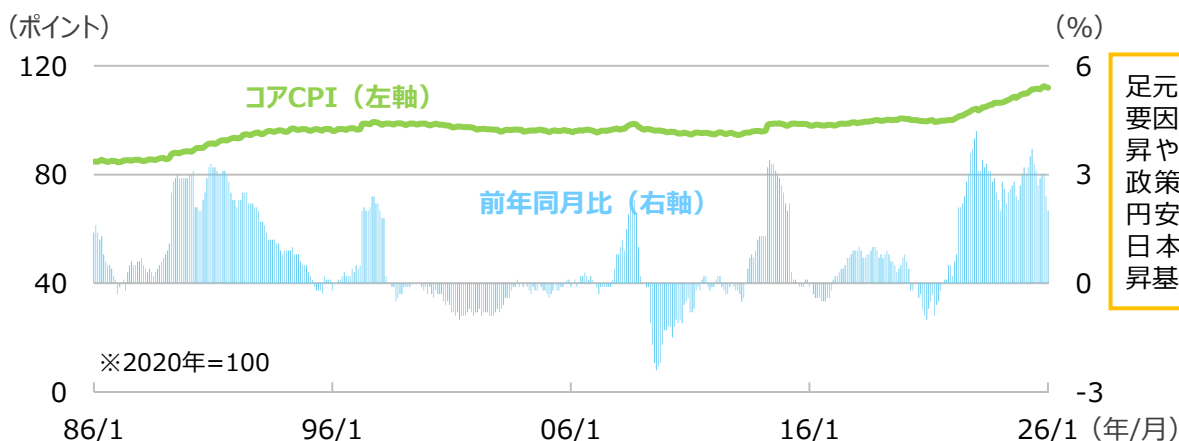


インフレ状況を把握するために多くの国・地域で一般的に採用されている指標が消費者物価指数（CPI）です。**CPIは家計で支出の多いモノやサービスの価格の動きを指数化したもの**で、「経済の体温計」とも呼ばれています。日本では調査員が対象の品目をスーパーマーケットなどで調べて算出されます。

また、天候などによって相対的に価格変動の大きい生鮮食品を除いて算出される総合指数（コアCPI）も公表されています。日本銀行は物価安定の目標として「消費者物価の前年比上昇率2%」を掲げていますが、**コアCPIはその物価変動の基調を的確に把握するための指標の一つ**として使われています。

日本の消費者物価指数の推移

1986年1月～2026年1月、月次



※この資料の最終ページの「重要な注意事項」を必ずご確認ください。

(ご参考) 物価上昇のイメージ

2026年1月における日本のコアCPI（前年同月比）は+2.0%で、2025年1月と比較して物価（生鮮食品を除く）が2.0%上昇していることを意味します。現在リンゴが200円と仮定し、毎年2%ずつ価格が上昇した場合、リンゴの価格は5年後221円となります。



1年後	2年後	3年後	4年後	5年後
204円	208円	212円	216円	221円

※上記はイメージです。
（注）価格は四捨五入しています。

【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

＜ご留意いただきたい点＞

■この資料は具体的な商品をご説明するものではないため詳細を記載しておりませんが、元本保証のないリスク性商品のご購入やご売却、保有にあたっては、手数料等をご負担いただきます。■リスク性商品には、各種相場環境等の変動により、投資した資産の価値が投資元本を割り込む等のリスクがあります。■リスク性商品中途解約する場合は、ご購入時の条件が適用されず不利益となる場合があります。■くわしくは、三井住友銀行店頭の商品の説明書等を必ずご覧ください。



三井住友銀行

株式会社三井住友銀行
登録金融機関 関東財務局長（登金）第54号
加入協会 / 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会